

本施工要領書は、モジュール1枚に対して金具6個で固定することを想定し作成しております。
モジュール1枚に対する金具の固定数は、設置案件により異なりますので事前にご確認下さい。

2. 施工手順

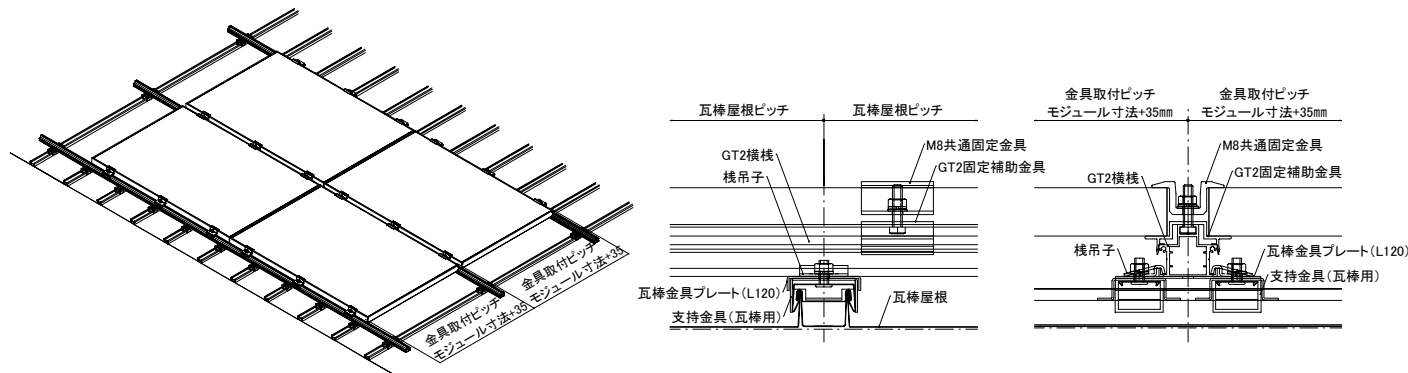
2-1. 瓦棒屋根用取付金具の設置

2-1-1. 瓦棒屋根用取付金具の設置位置

瓦棒屋根用取付金具の設置ピッチは、基本的には流れ方向がモジュール寸法+35です。

下図設置例を参考に墨出しを行ってください。

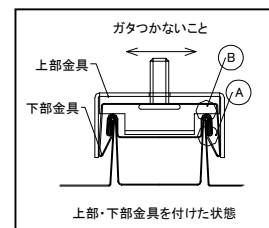
※設置するモジュールフレームに突起がある場合やフレームが複雑な形状をしている場合には、取付可否及び設置ピッチの検討が必要な場合があります。



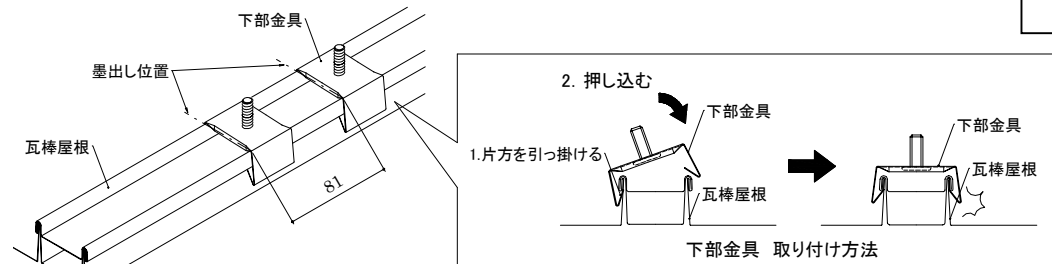
2-1-2. 瓦棒屋根用取付金具の設置

施工前に上部金具・下部金具が右図のように取り付けられることを確認してください。

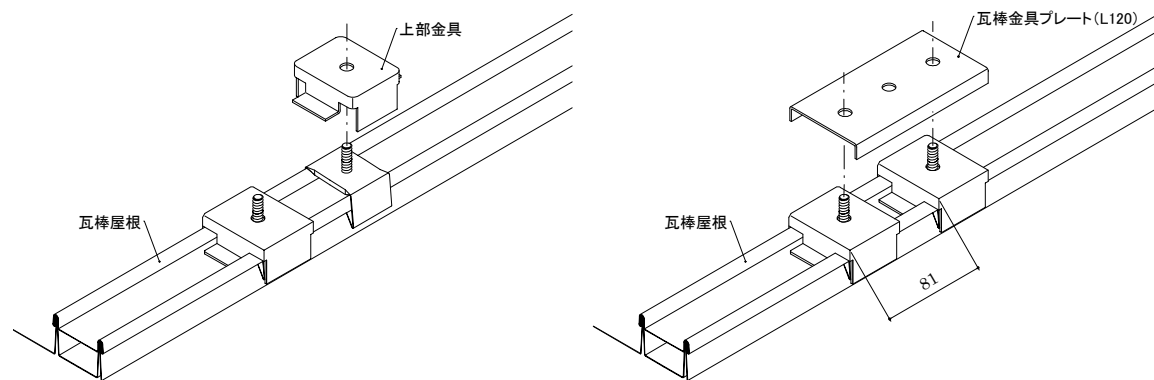
A：下部金具が瓦棒屋根ハゼに引っ掛かる。 B：上部金具がハゼ上部に当たる。



下部金具を、瓦棒屋根に取り付けます。下部金具の間隔は81mmとしてください。



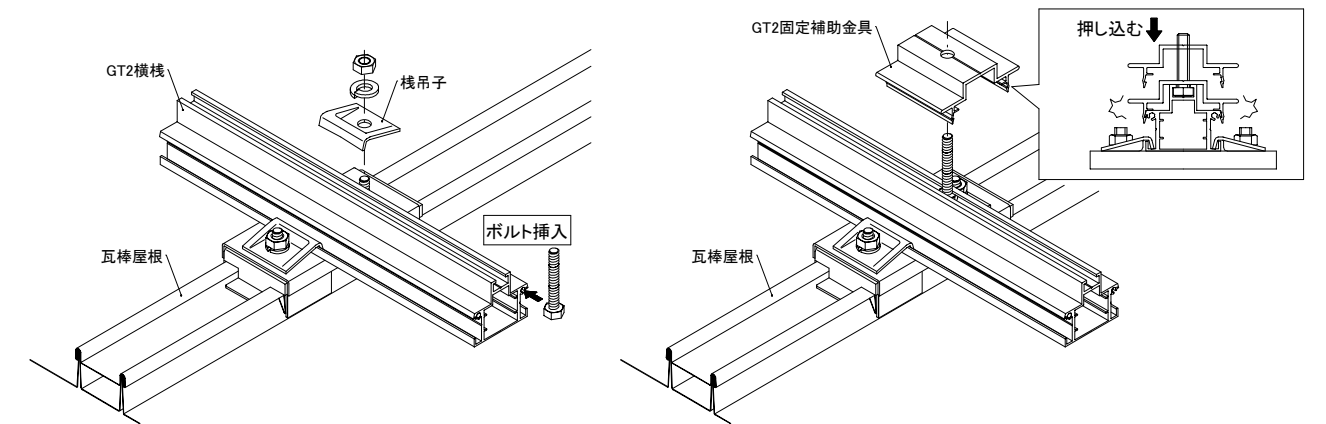
次に上部金具、瓦棒金具プレート(L120)の順で取り付けしてください。



上部金具を下部金具の上から取り付けます。
上部金具は瓦棒屋根のハゼに当たるまで押し込んでください。

瓦棒金具プレートを支持金具の上に取り付けます。

GT2 横線を棧吊子とナットとスプリングワッシャで固定し、必要数のボルトを GT2 横線のボルトレール部に通してください。GT2 固定補助金具の中にボルトを通すように設置し、押し込んで固定してください。



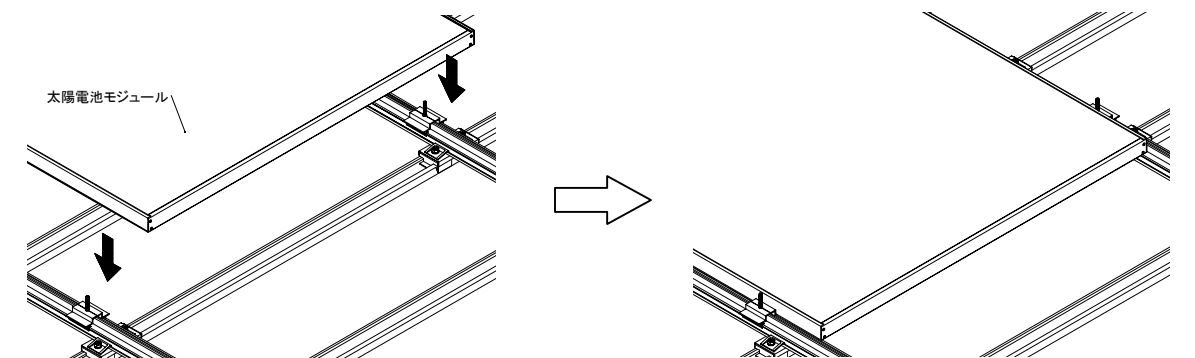
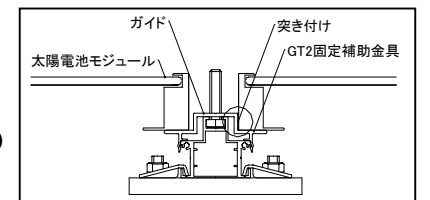
注意

- ・ 瓦棒屋根のハゼ締め状態により取り付けできない場合があります。
- ・ 棧吊子の締め付けトルクは、8 ~ 10(N・m)で締め付けてください。

2-2. モジュールの設置（仮置き）

GT2 固定補助金具のガイド間にモジュールを落とし込み仮置きします。

モジュールの水下側又は水上側一辺を GT2 固定補助金具のガイドに突き付け、もう一辺が GT2 固定補助金具のガイド内に入るように設置(仮置き)してください。

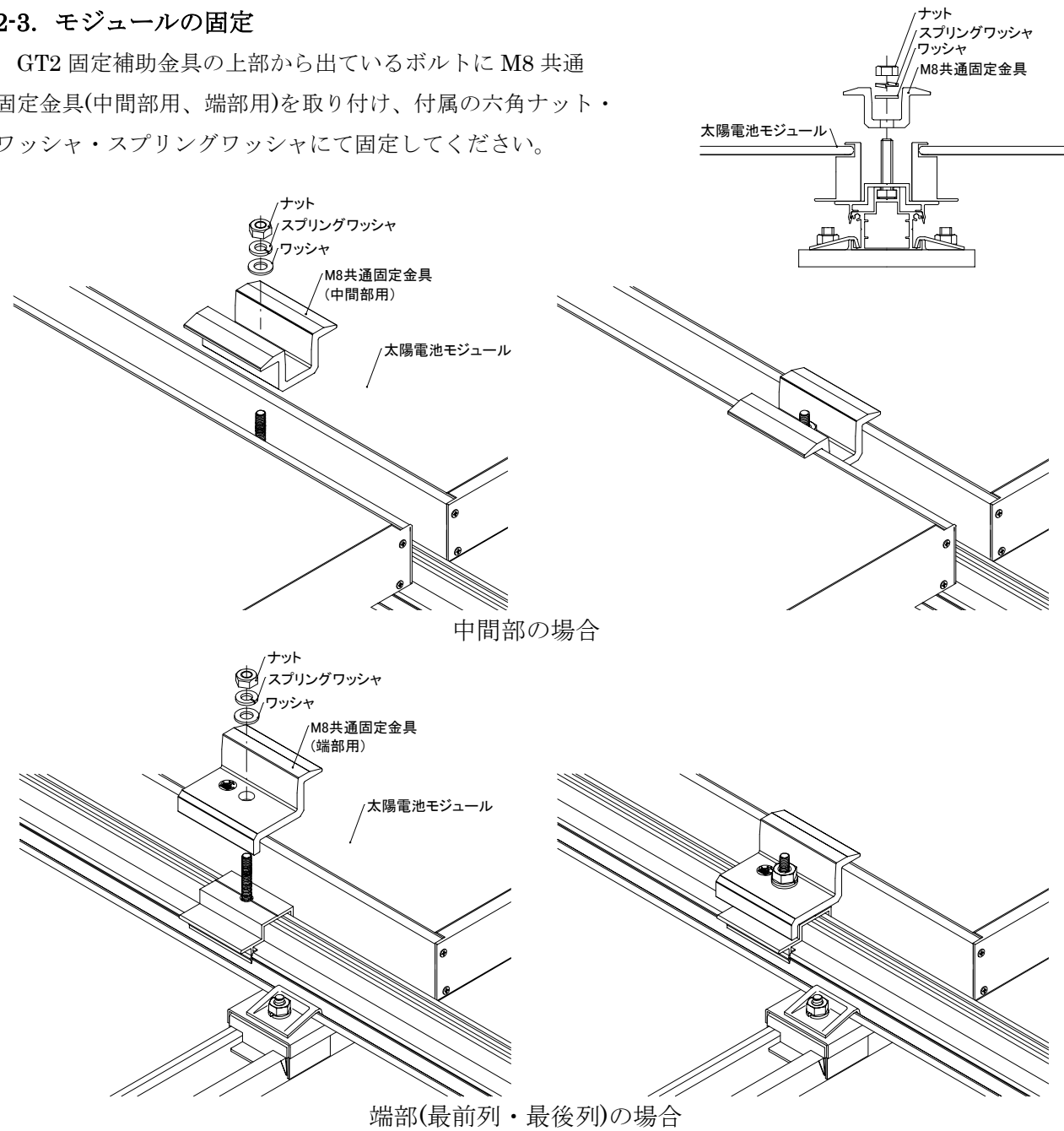


注意

- ・ モジュールを設置する際に、金具のボルト等によりモジュール裏面を傷付けないようにしてください。
- ・ モジュールを設置する際に、配線の挟み込みには注意してください。

2-3. モジュールの固定

GT2 固定補助金具の上部から出ているボルトに M8 共通固定金具(中間部用、端部用)を取り付け、付属の六角ナット・ワッシャ・スプリングワッシャにて固定してください。



注意

- ・ M8 共通固定金具の締め付けトルクは、8 ~ 10(N・m)で締め付けてください。
- ・ モジュールと GT2 固定補助金具のガイドに 4mm 以上の隙間がある場合は、モジュールを取り外し、GT2 固定補助金具から下の部材位置を調整してください。

2015 年 12 月版 TRMPVT105

発行：元旦ビューティ工業(株)
〒252-0804
神奈川県藤沢市湘南台 1-1-21

元旦ビューティ工業株式会社

施工要領書

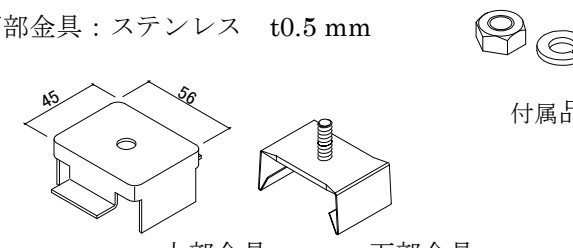
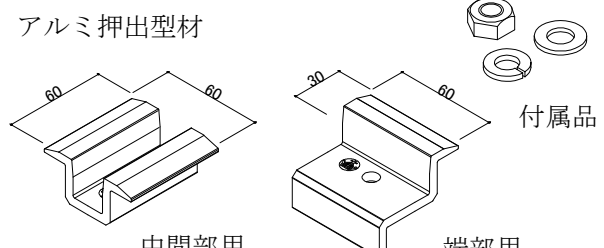
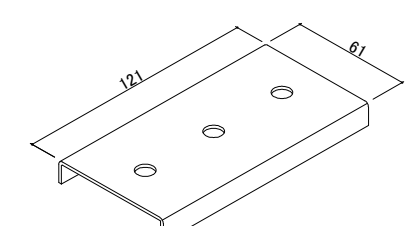
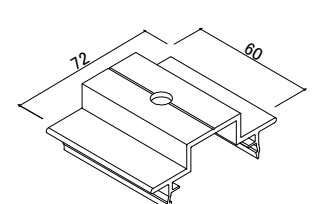
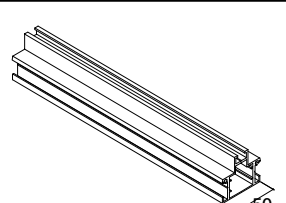
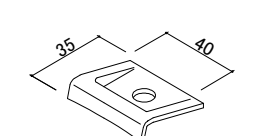
登録品目コード
(SC221, SC256)

元旦 PV 取付金具シリーズ

(瓦棒屋根用取付金具)

このたびは、瓦棒屋根用取付金具をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
製品を正しく安全に施工していただくために、この施工要領書をよくお読みください。

1. 瓦棒屋根用取付金具部材

<p>① 支持金具(付属品:M8 ナット・スプリングワッシャ) 上部金具:ステンレス t1.5 mm 下部金具:ステンレス t0.5 mm</p>  <p>上部金具 下部金具 付属品</p>	<p>② M8 共通固定金具 (付属品:M8 ナット・ワッシャ・スプリングワッシャ) アルミ押出型材</p>  <p>中間部用 端部用 付属品</p>
<p>③ 瓦棒金具プレート L120 ステンレス t1.5mm</p> 	<p>④ GT2 固定補助金具 アルミ押出型材</p> 
<p>⑤ GT2 横棧 アルミ押出材</p> 	<p>⑥ 棧吊子 ステンレス t2.0 mm</p> 
<p>⑦ M8×35 又は 45:ステンレス</p> 